

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの取り組みについて



鳥取大学医学部
地域医療学講座
李 瑛

みなさん、こんにちは。今春より日野病院で勤務させてもらうことになりました李 瑛（り よん）と申します。患者さんからは、「先生、日本語が上手だが〜」とよく言われますが、生まれも育ちも日本ですので、安心してお話をしていただけましたらと思います(笑)

私は出身が和歌山県ですが、祖父母が倉吉在住であったこともあり、鳥取大学医学部に入学し、在学中は学生活動の一環で、江府町や伯耆町の地区にも何度もお邪魔させてもらっていました。卒業後は縁もゆかりもない沖縄県の病院で研修・就職をし、沖縄で6年間勤務を終え、久しぶりに鳥取県に戻ってまいりました。久しぶりに聞く鳥取の方言に懐かしさを感じながら、道々に咲く桜の美しさや日野川の清流の音の心地よさに感動しております。

お世話になった鳥取への恩返しが少しでもできればなあ、と感じながらも、まだまだ未熟ですので、多くのことを皆さんに教えてもらいながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくおねがいします。



鳥取大学医学部
地域医療学講座
紙本 美菜子

みなさん初めまして。地域医療学講座の紙本といたします。私はもともと大山町（旧名和町）の海辺の出身です。平成20年自治医科大学卒業後、鳥取県立中央病院で初期研修を終えた後、日南町国保日南病院、大山町国保名和診療所、鳥取大学医学部附属病院、南部町国保西伯病院と、おもに鳥取県西部で10年ほど働いてきました。経験の浅い若手医師の頃から、赴任した地域住民の方々や病院スタッフのみなさんから、優しい言葉、厳しい言葉、本当の思い…などいろいろな言葉をかけていただき、医師として育ててもらったんだなという感謝の思いがあります。日野病院は鳥取県西部地域で唯一訪れたことのない公立病院となります。診療の際には、病気のことでなく「この患者さんは、どうすれば心が平らになるのか」を気にかけるようにしています。私事としましては、家に帰れば2人の娘の子育てで溝口の鬼となったり、はたまた野球場ではつつましやかに監督夫人を演じたり…といったこれも本気の副業が待っています。

これから総合診療科の一員として、日野川流域の住民のみなさんの健康について、また自分のように地域で育てていただく医学生の教育について学び考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。